



「おやこよりそいチャット」 利用者アンケート 2025年9月実施

調査目的

SNS相談支援を利用する困窮家庭（ひとり親、離婚前・別居中の実質ひとり親、心の不調がある家庭、外国ルーツの世帯など）の生活状況・地域の支援への利用状況を明らかにするとともに、育児への孤独感を調査するため、以下の3つの視点でアンケートを実施した。

【1】 利用者は困窮状態にもかかわらず、必要な支援（公的制度・支援サービス）につながれていないのでは？

【2】 その背景には、支援につながらない状況があるのでは？

【3】 育児に対して孤独感を持っているのでは？

調査概要

項目	内容
調査方法	インターネット上での回答
調査項目	2025年9月26日（金）～2025年10月6日（月）
対象者	『おやこよりそいチャット』に登録する、ひとり親、離婚 婚前・別居中の実質ひとり親、心の不調がある家庭、外国 ルーツの世帯などの子育て世帯
回答数	97件

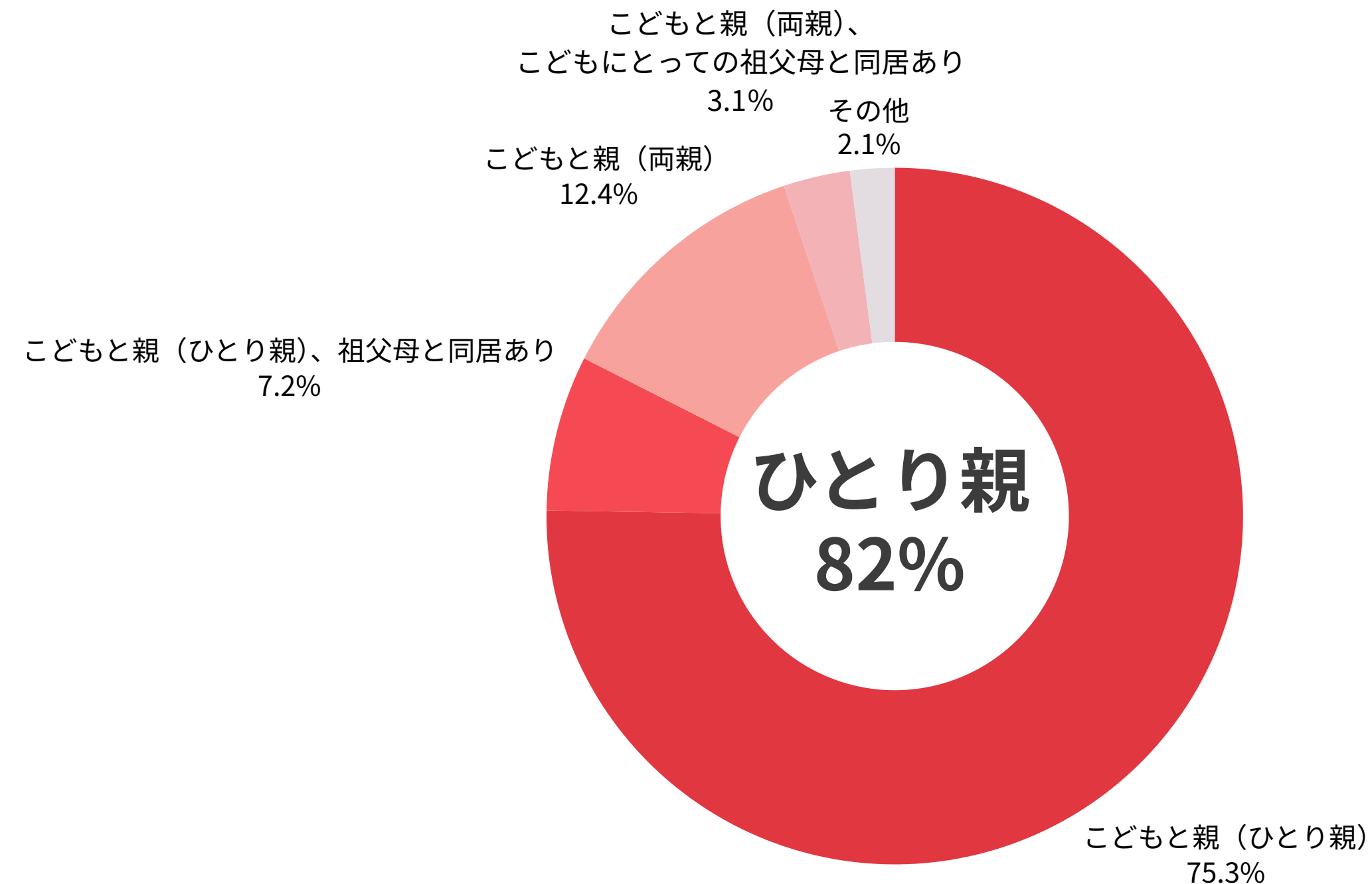
アンケート結果



調査対象の利用者とは？

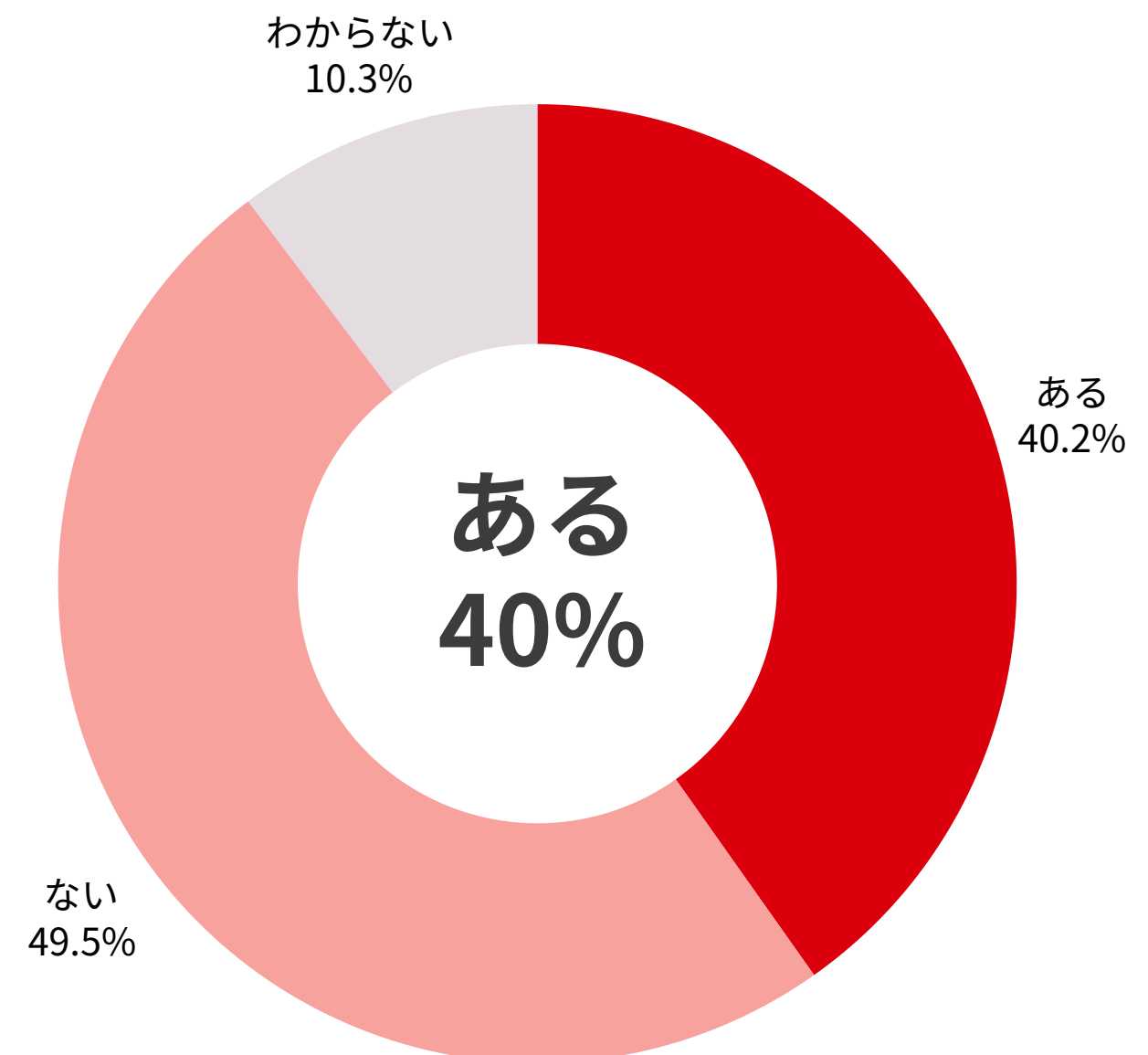
回答者の82%がひとり親

家族構成を教えてください (n=97)



回答者の40%が本人や家族に外出困難な障害や疾病がある

あなた、もしくはご家族に外出が困難になるような障害や疾病はありますか？ (n=97)



調査対象の利用者とは？

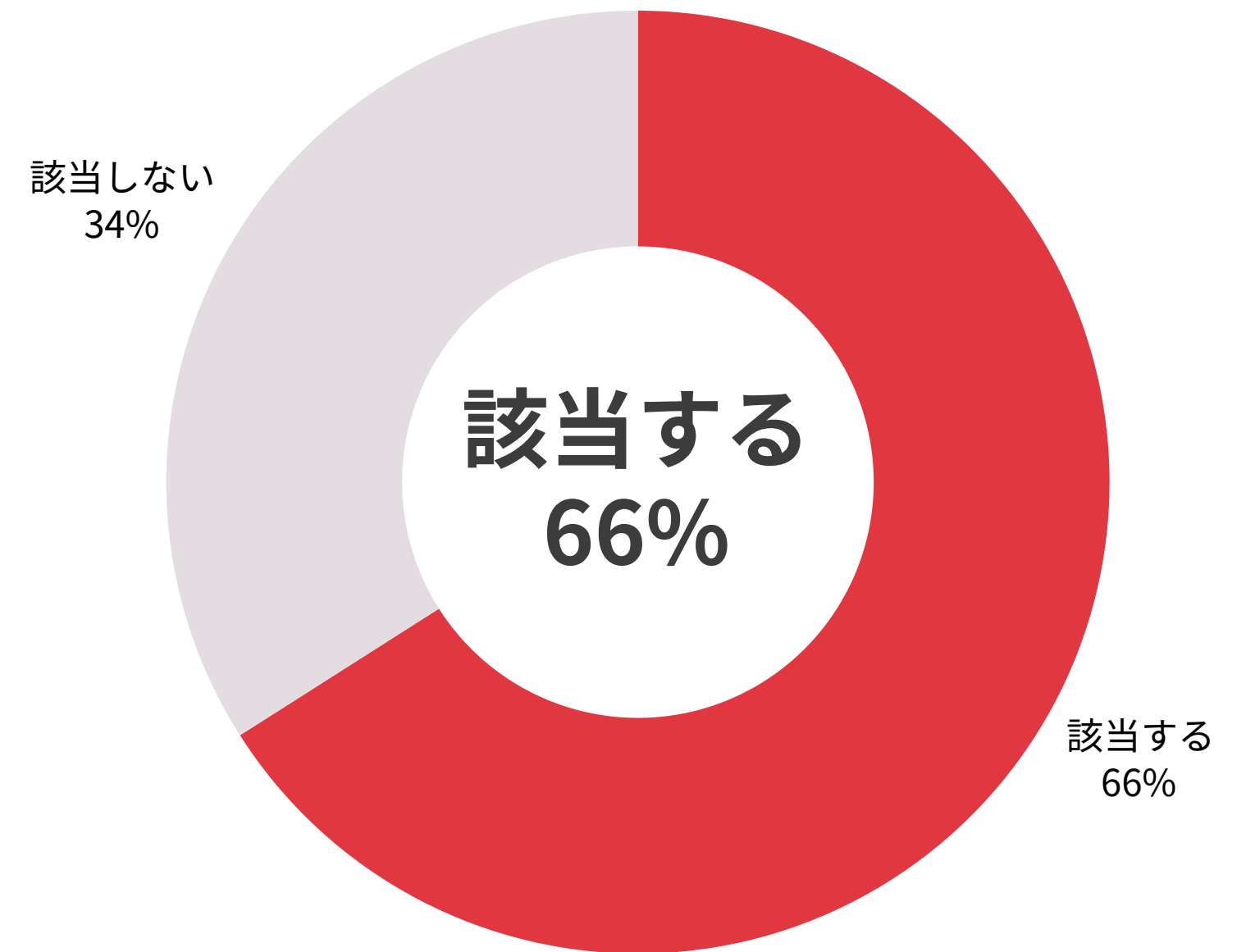
回答者の66%が経済的に厳しい状況

①直近1ヶ月の間に、経済的な理由で食事を抜いた
または満足に食べられないことが「ある」

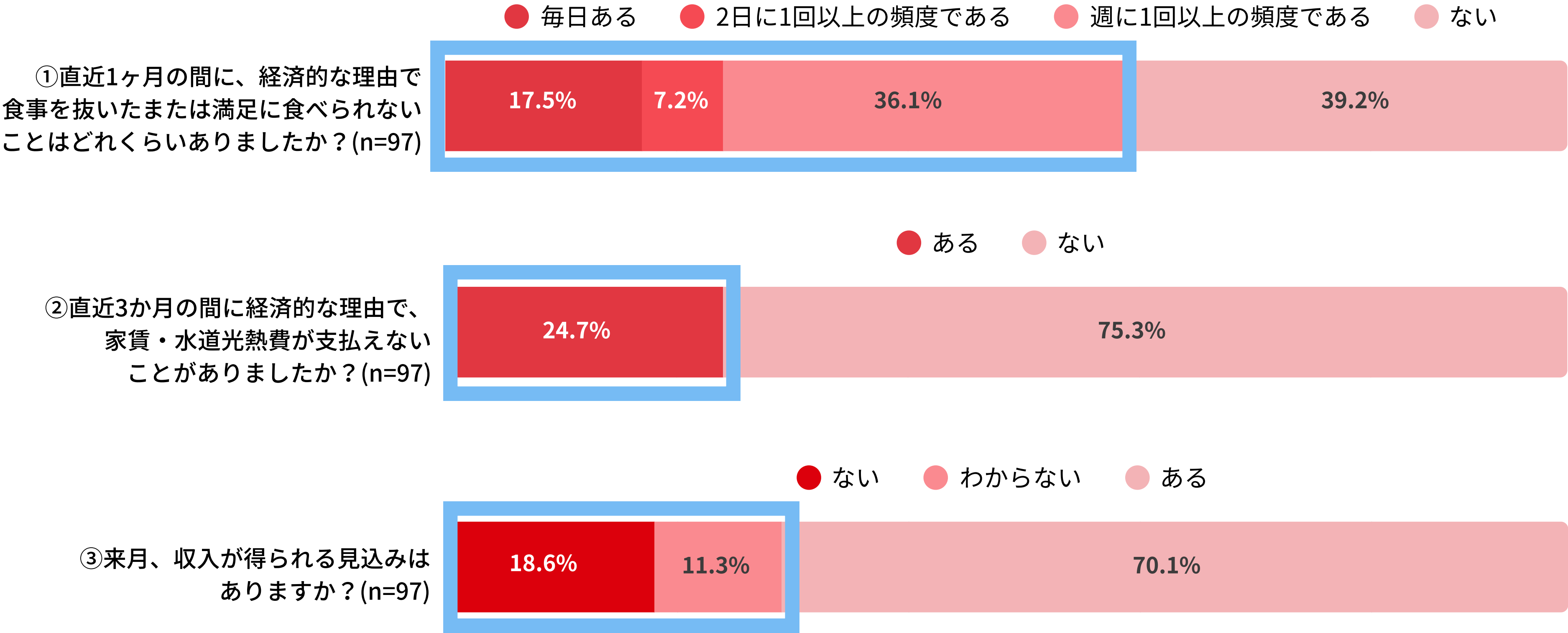
②直近3か月の間に経済的な理由で、家賃・水
道光熱費が支払えないことが「ある」

③来月の収入見込が「ない」「わからない」

上記3項目いずれかに該当する (n=97)



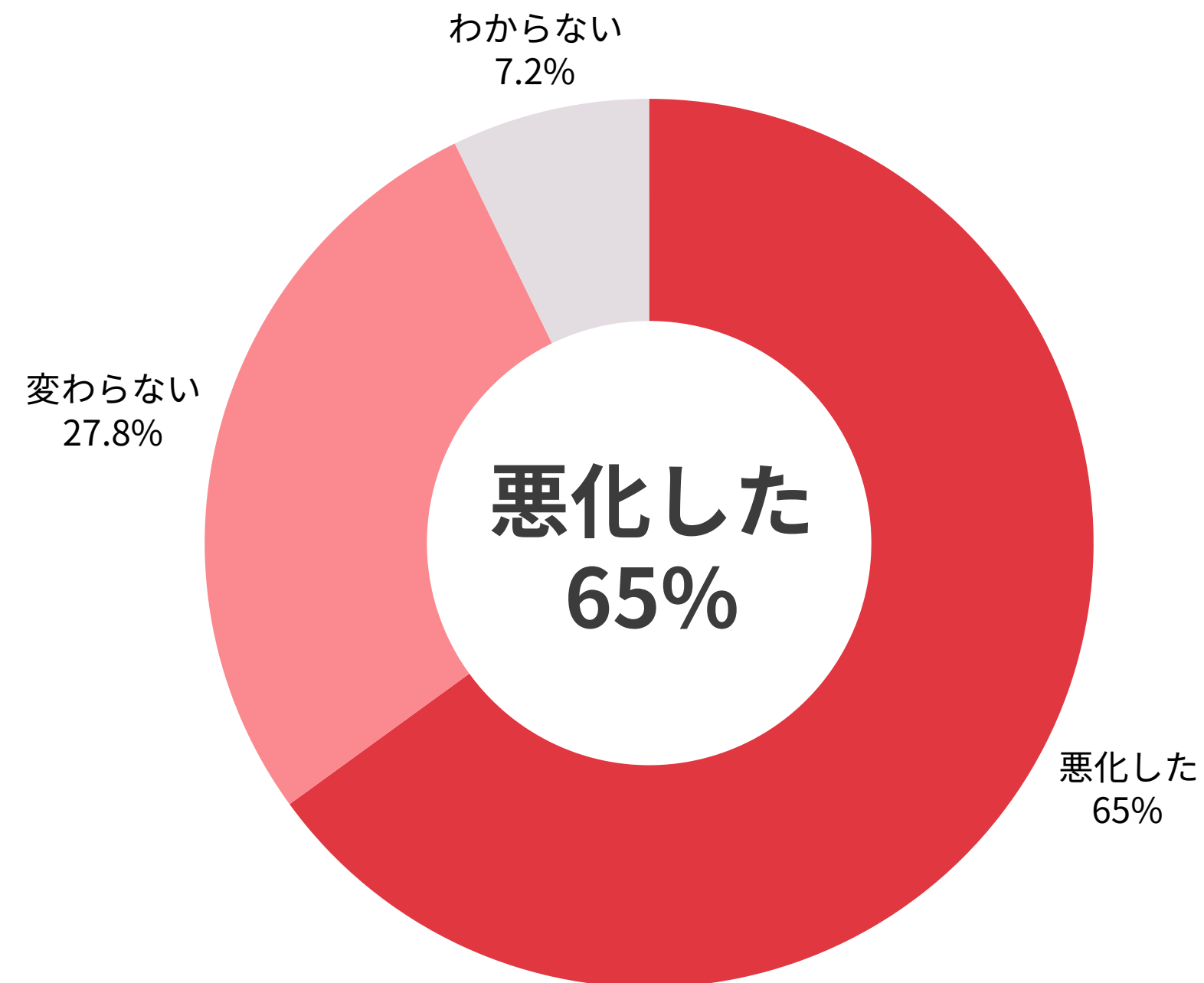
経済的な状況（詳細）



1年の経済状況

回答者の65%が悪化

一年前と比べて、家計の状況は変化しましたか？ (n=97)



【回答者の属性・経済状況まとめ】

まとめ①

属性と経済状況（「ひとり親」が82%、「障害や疾病がある」が40%。「経済的に厳しい世帯」66%）から、アンケートに回答した『おやこよりそいチャット』の利用者は、身体的、精神的、経済的など多様あるいは複合的な困難（多重苦）を抱えている世帯がいることが示唆される。

まとめ②

回答者の65%が「1年前より家計が悪化した」と回答。続く物価高騰に加え、米の値上がりなどの影響で、経済的な困窮家庭はより一層生活が圧迫された一年だったと推測される。

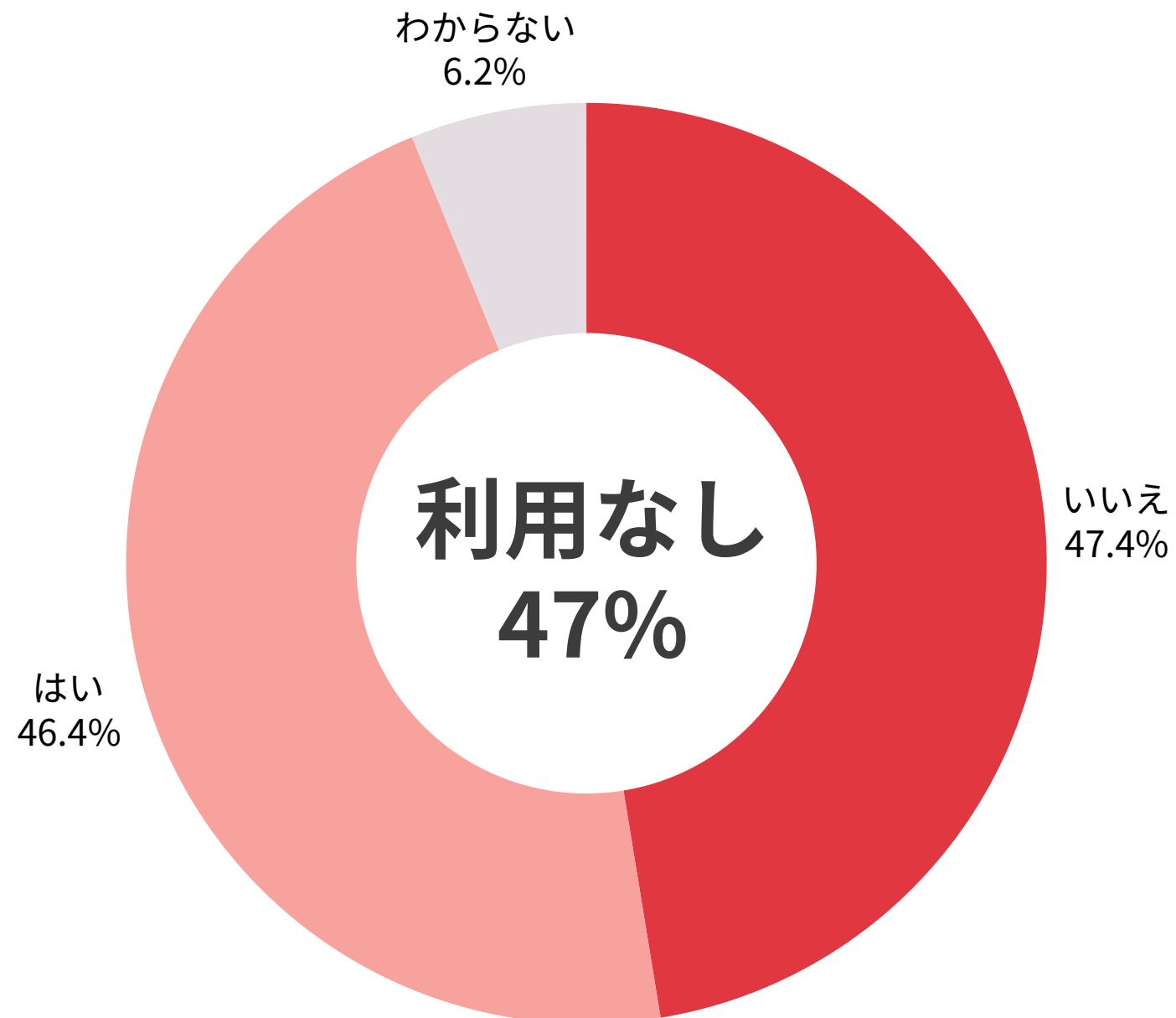
**【1】 利用者は困窮状態にもかかわらず、
必要な支援（公的制度・支援サービス）に
つながれていないのでは？**



行政窓口や地域の支援サービスの利用状況

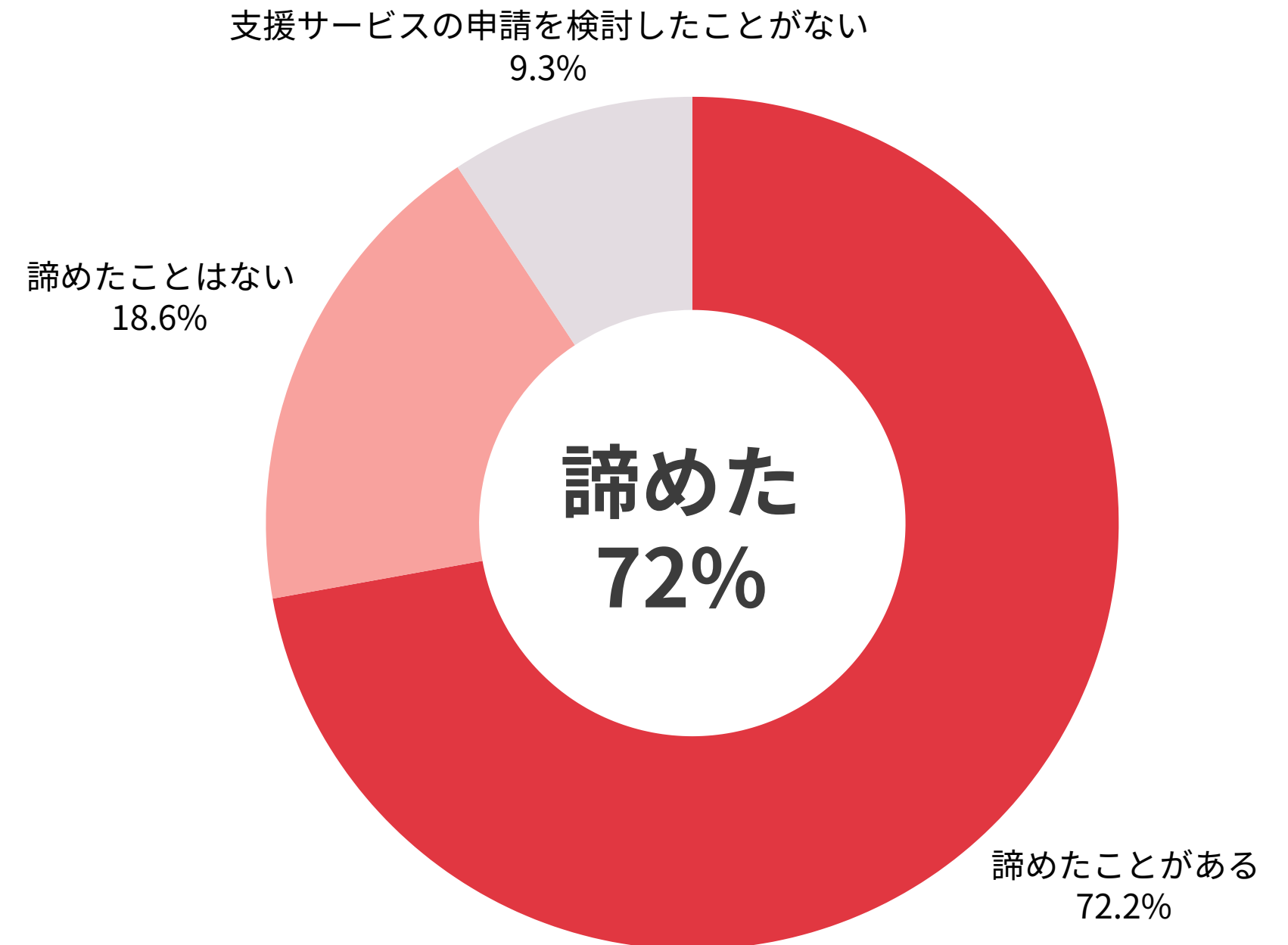
回答者の47%が利用なし

現在、日常的に行政窓口への相談や、地域の支援サービスを利用していますか？（n=97）



回答者の72%が利用を諦めた経験がある

これまでに、行政窓口もしくは地域の支援サービスの利用を諦めたことはありますか？（n=97）

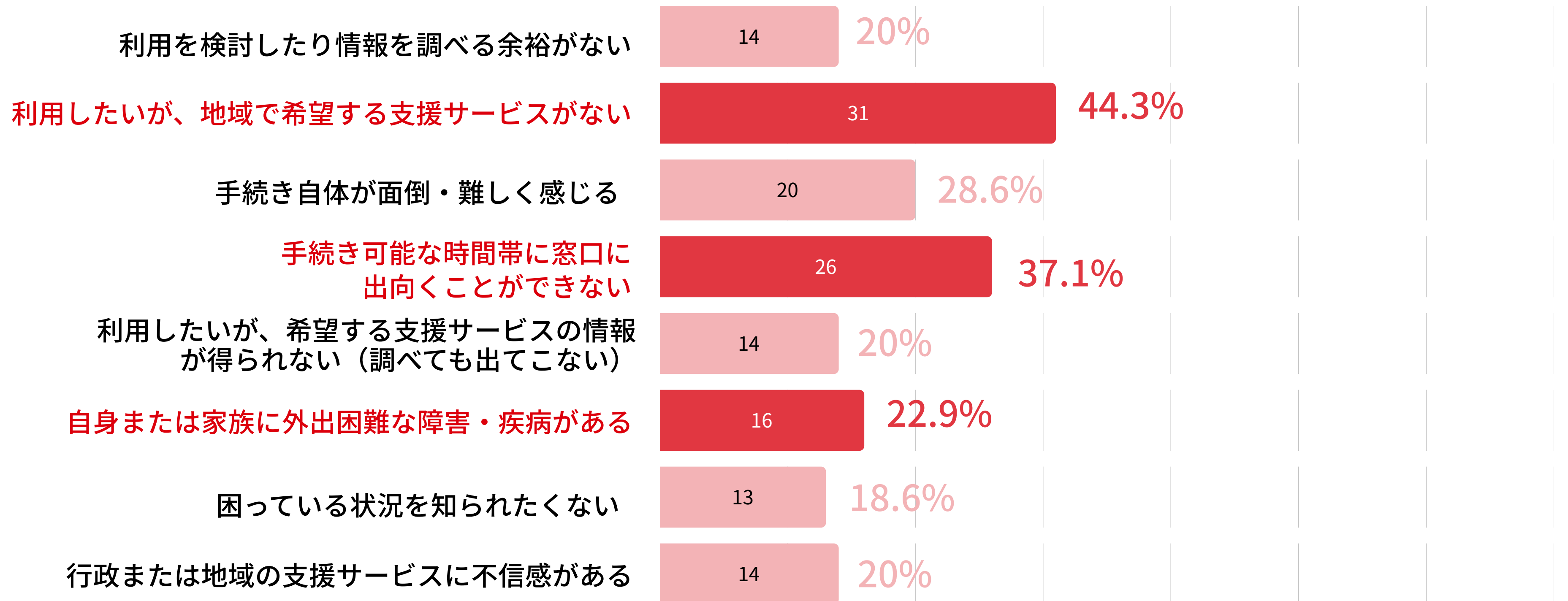


【2】 その背景には、 支援につなげられない状況があるのでは？



行政窓口や地域の支援サービスの利用を諦めた理由

行政窓口もしくは地域の支援サービスの利用をあきらめたことがある方に伺います
どのような理由で諦めましたか（n=70）【複数回答可】



回答者の声

**支援を希望しているにもかかわらず利用できなかった、
または利用できず困ったエピソードの抜粋です。**

①地域・制度の障壁

***フードパントリーを利用したいが、住んでいる自治体が無駄に広く、車やバイクなどがないため、取りに行けない。(1児のひとり親 匿名)**

***夫と別居中で離婚が成立しておらず、児童扶養手当をもらってる人しかサービスを受けられないことが多い。(2児のひとり親 Yさん)**

②時間的な障壁

＊土日祝日は仕事なので、なかなかサービスを受けられない。平日も仕事が遅い日もあるので難しい。(1児の親Kさん)

＊ひとり親家事支援があると知って問い合わせたところ、事前の家庭訪問や書面提出など、**平日日中の仕事と並行して手続きを進めることができなかった**。実家も遠く頼れる身内もおらず、私は当時病気を抱えていたので、家事支援サービスはぜひ相談したかったので非常に残念だった。(2児のひとり親 Nさん)

③障害・疾病等による障壁

＊以前食料を買うのが厳しく、役所でフードバンクの提供をいただけるという話があったが、**私は足が悪く重いものが持てず、宅配もできない**とのことだったので断念した。(3児のひとり親 Hさん)

＊鬱病で通院すらままならず、**通院同行サービスを希望していたが、車を所持しているという理由で断られた**。(2児の母、ひとり親Sさん)

【経済的な状況】

×

【行政窓口や地域の支援サービスの利用状況】
で明らかになった親子の存在



経済的困窮度が極めて高い家庭

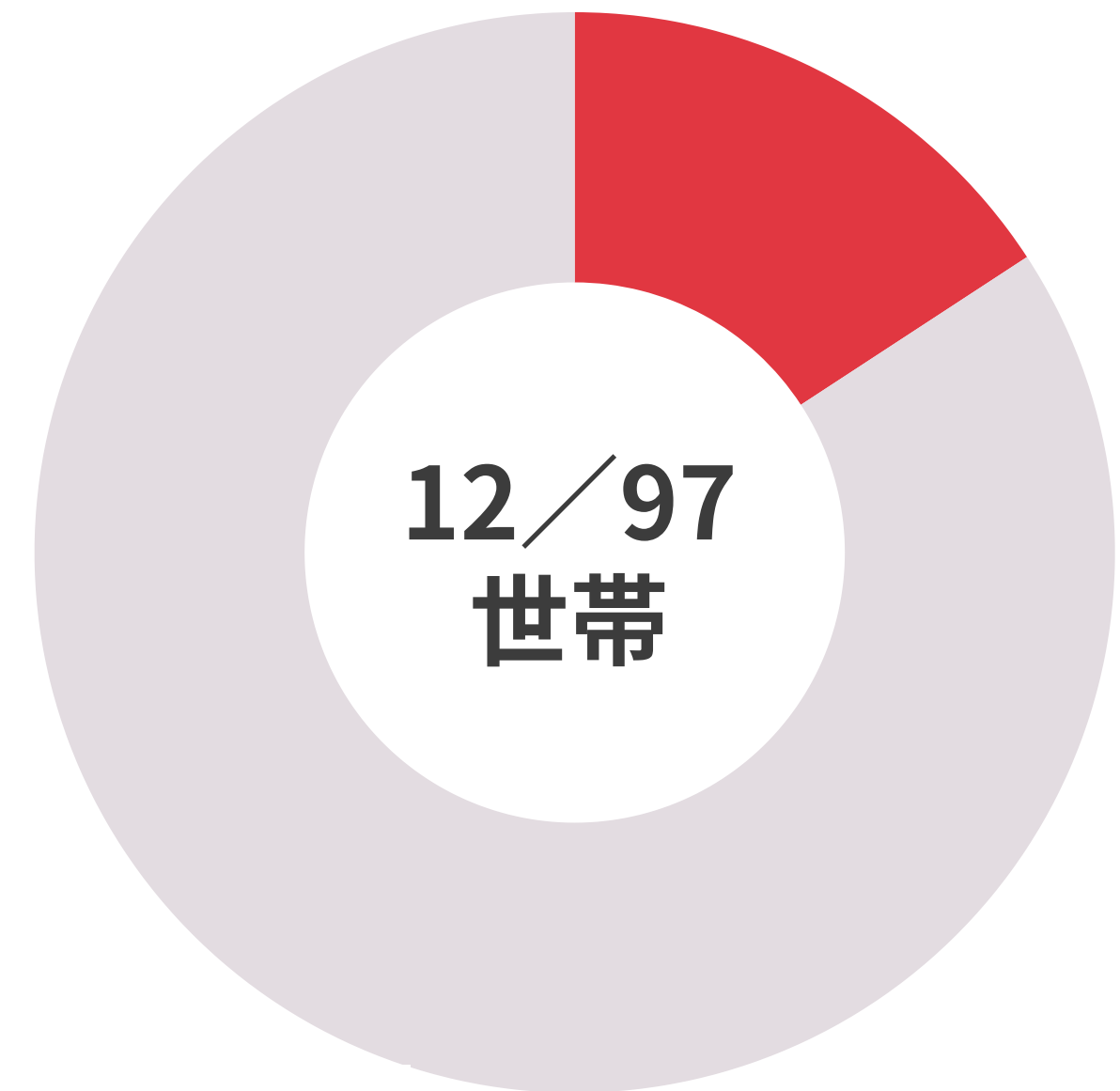
回答者の12世帯が該当

①直近1ヶ月の間に、経済的な理由で食事を抜いた
または満足に食べられないことが「ある」

②直近3か月の間に経済的な理由で、家賃・水
道光熱費が支払えないことが「ある」

③来月の収入見込が「ない」「わからない」

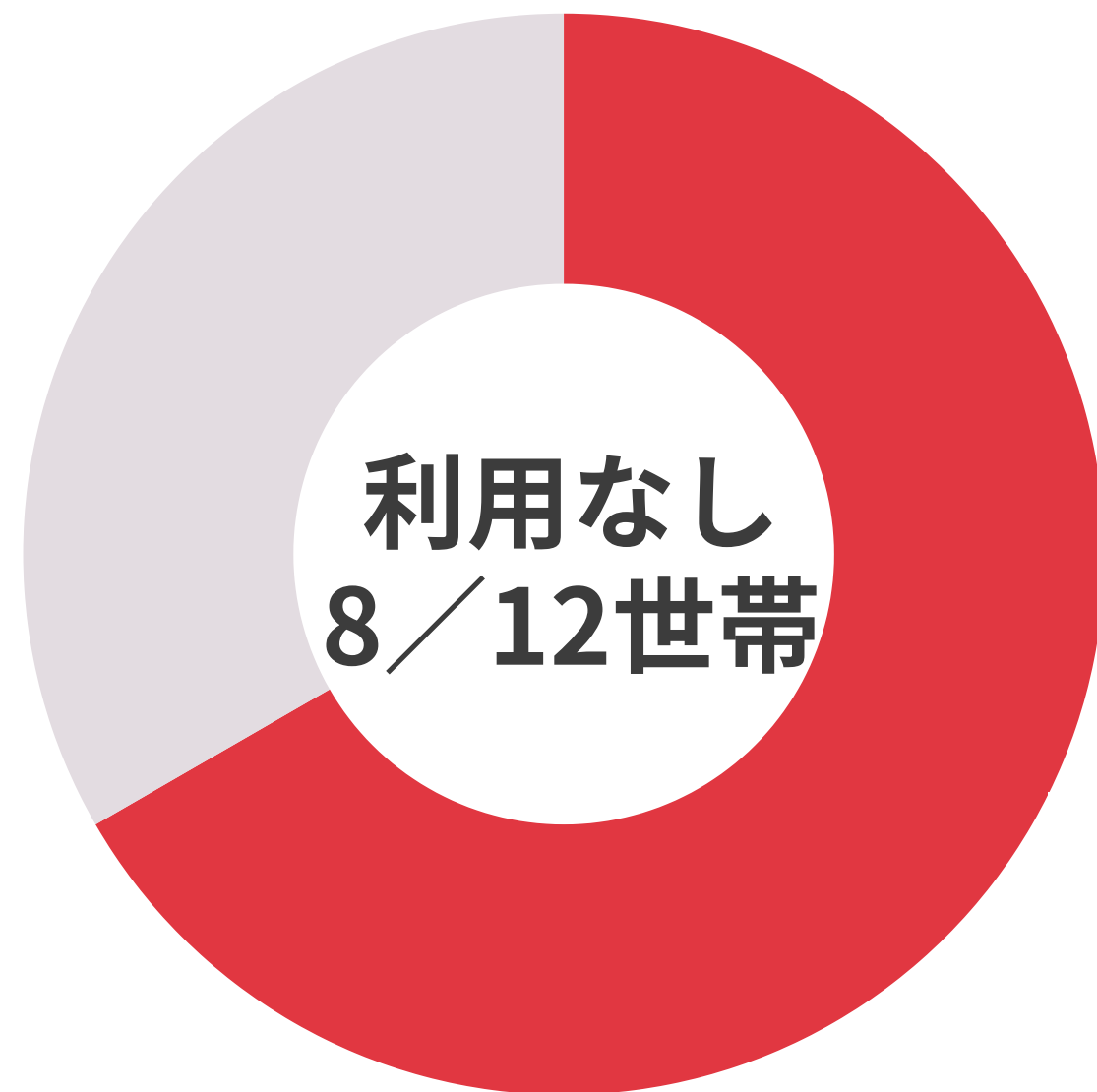
上記3項目すべてに該当する (n=97)



行政窓口や地域の支援サービスの利用状況

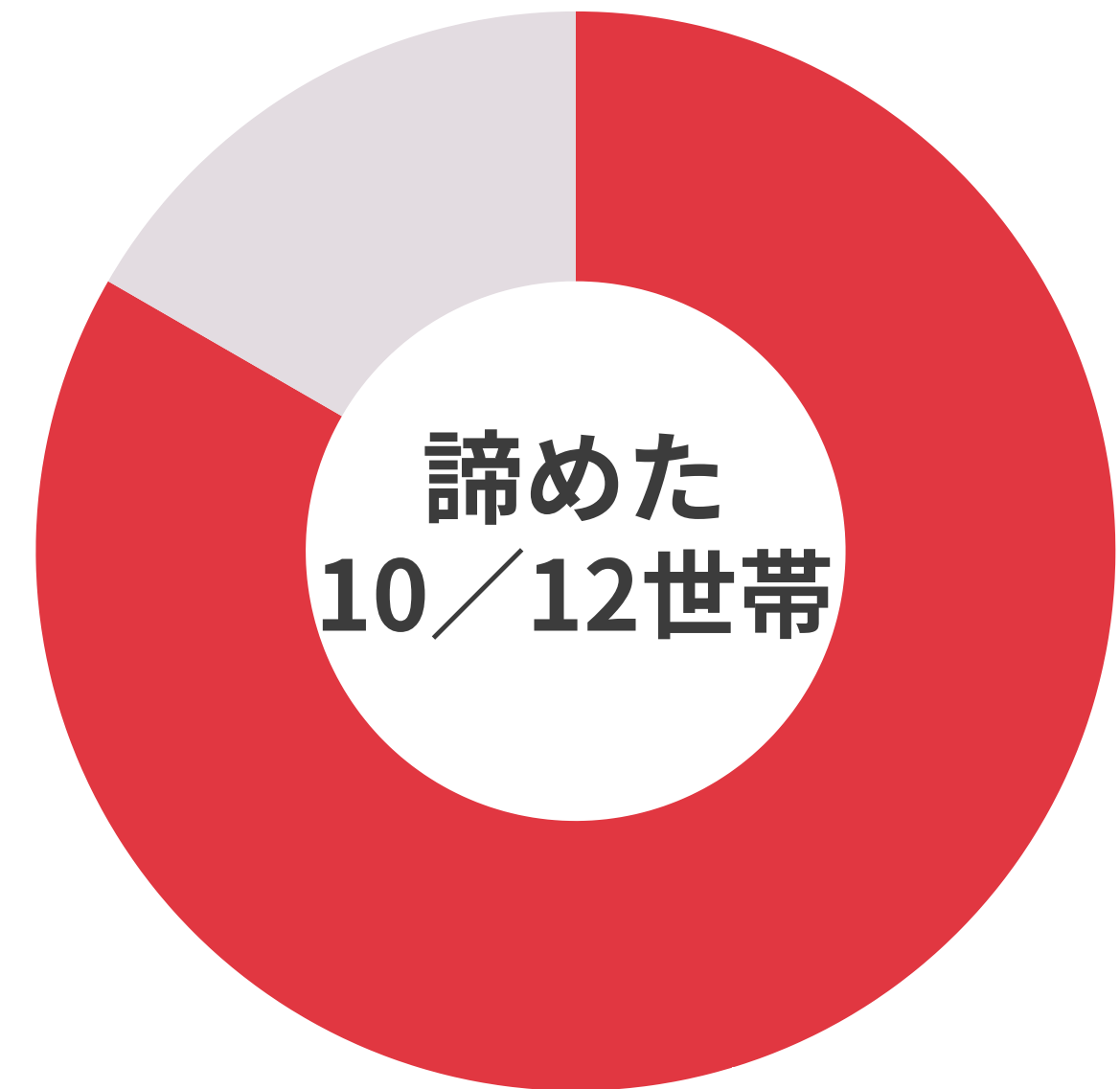
8世帯が利用なし

現在、日常的に行政窓口への相談や、地域の支援サービスを利用していますか？（n=12）



12世帯が利用を諦めた経験がある

これまでに、行政窓口もしくは地域の支援サービスの利用を諦めたことはありますか？（n=12）



行政窓口や地域の支援サービスの利用を諦めた理由

行政窓口もしくは地域の支援サービスの利用をあきらめたことがある方に伺います
どのような理由で諦めましたか（n=12）【複数回答可】

利用を検討したり情報を調べる余裕がない
利用したいが、地域で希望する支援サービスがない

手続き自体が面倒・難しく感じる

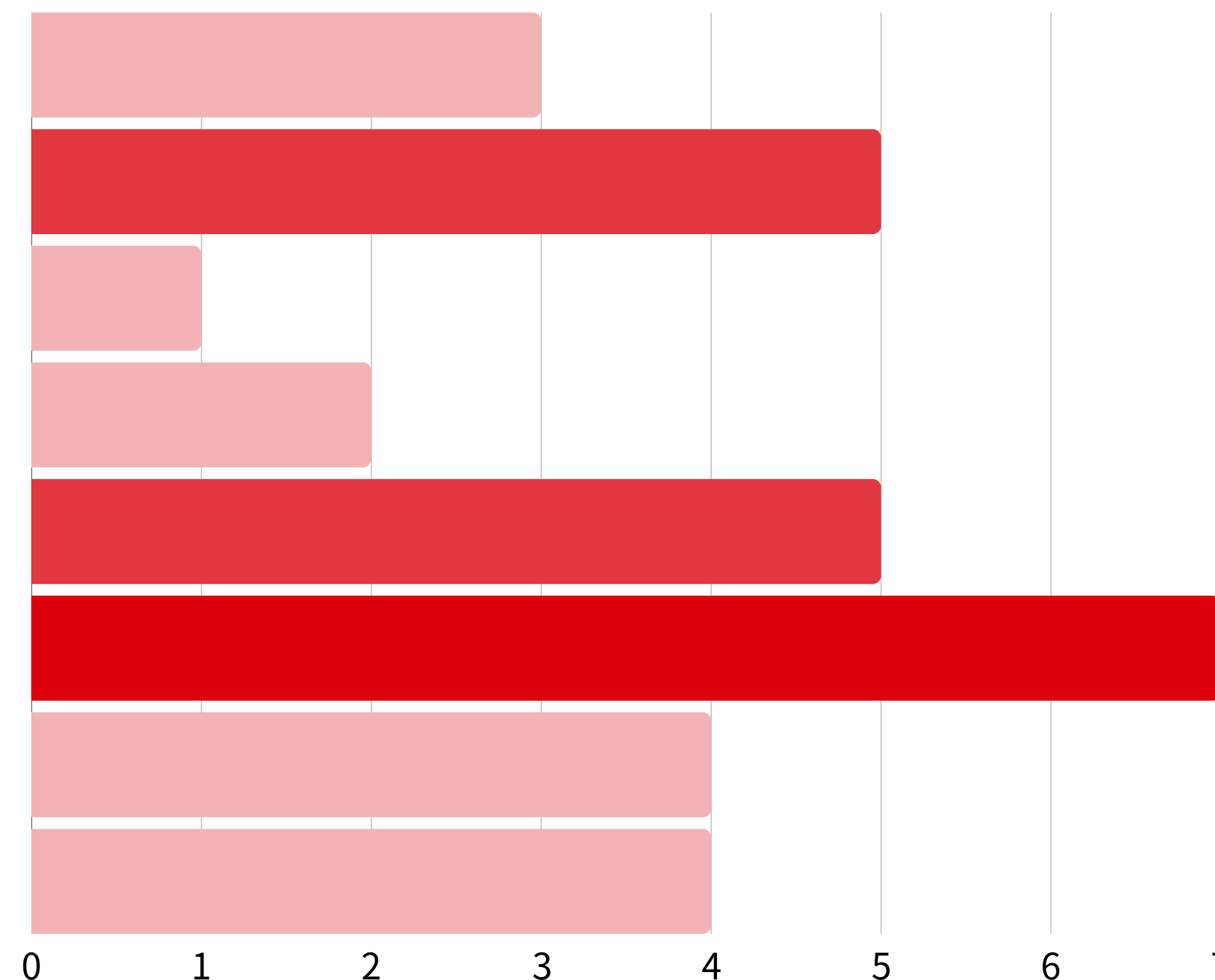
手続き可能な時間帯に窓口に出向くことができない

利用したいが、希望する支援サービスの情報が得られない（調べても出てこない）

自身または家族に外出困難な障害・疾病がある

困っている状況を知られたくない

行政または地域の支援サービスに不信感がある



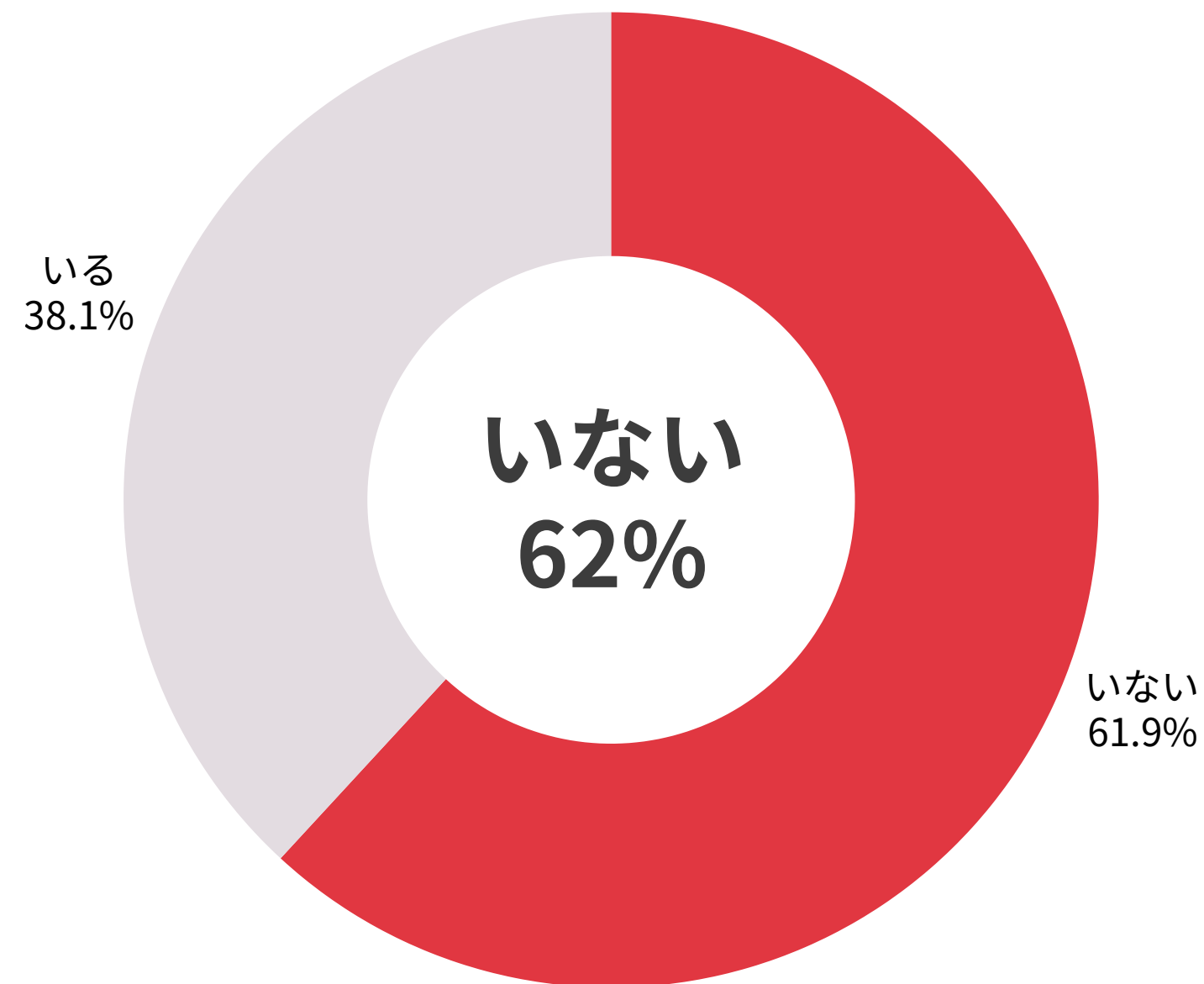
【3】 育児に対して 孤独感を持っているのでは？



周囲への相談状況

回答者の62%が気軽に相談相手なし

子育て・生活等に関して、気軽に相談できる相手（場所）はいますか？（n=97）



相談相手（場所）がない理由

相談相手（場所）がないと回答した方に伺います
理由を教えてください（n=60）【複数回答可】

相談する時間がない

21

35%

困っているがどのように相談したら
いいかわからない

40

66.7%

困っている状況を誰にも
知られたくない

27

45%

相談の必要性がない

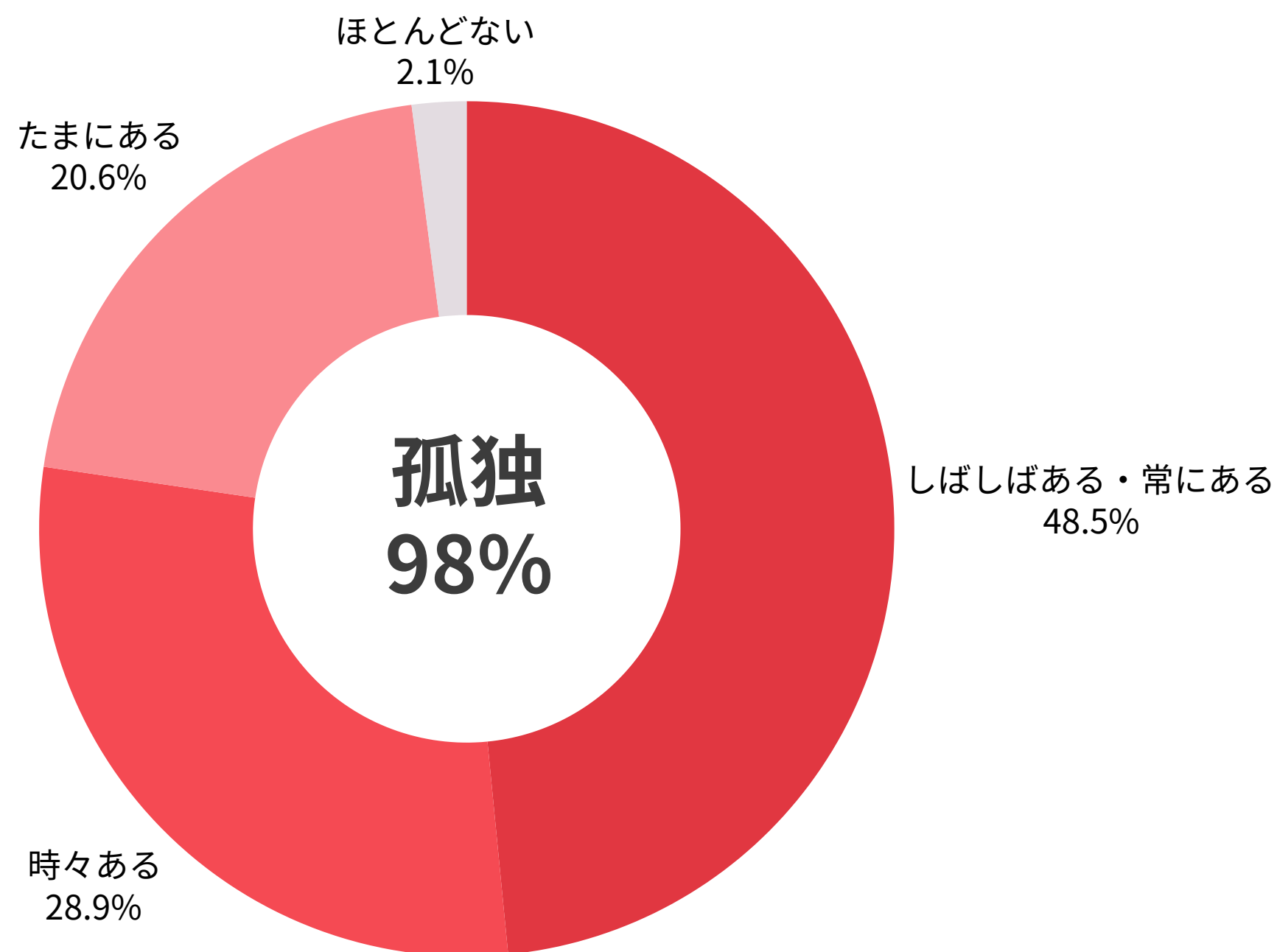
1

1.7%

育児に対する孤独感

回答者の98%が孤独感あり

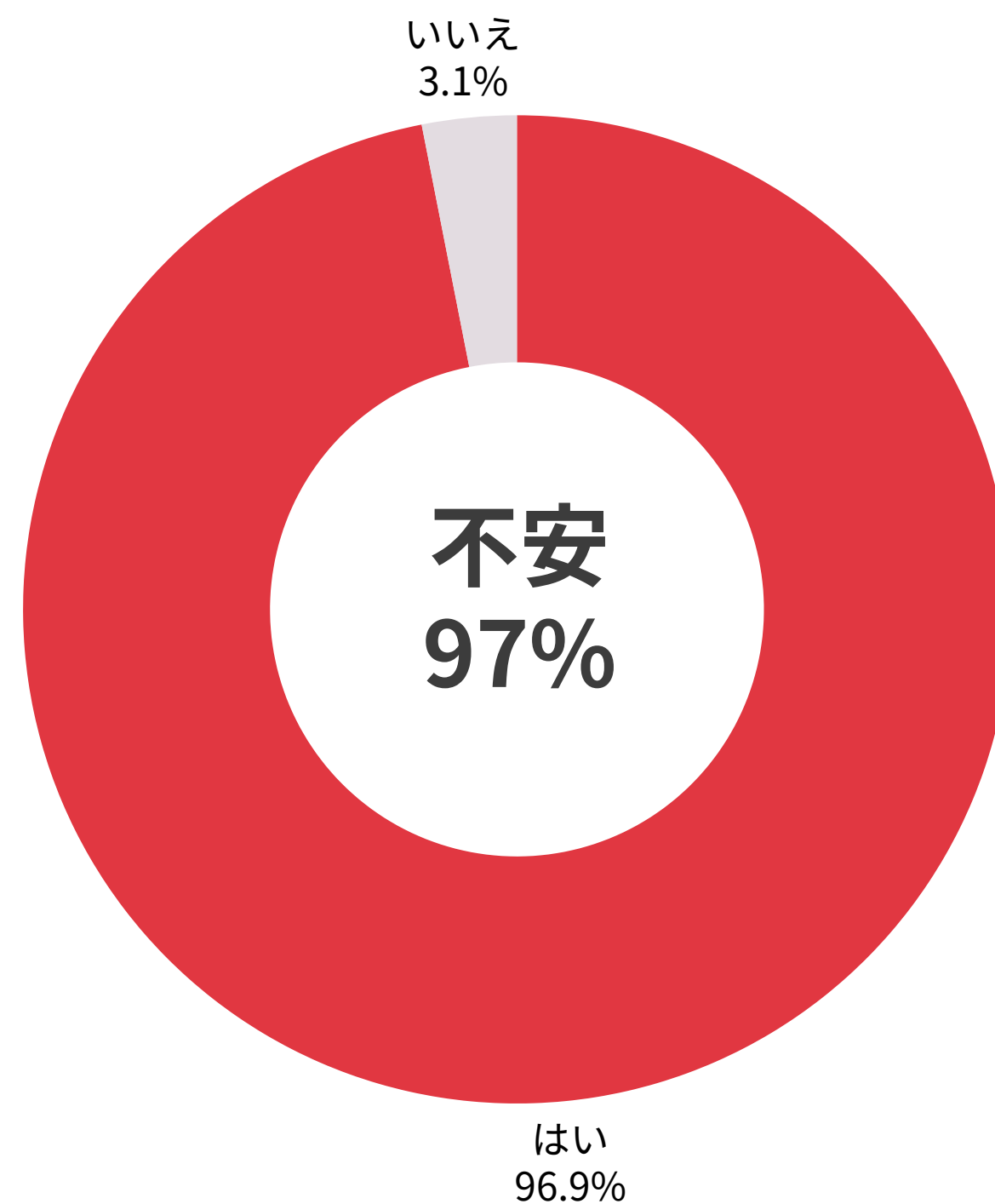
本サービスの利用前に、どの程度子育てに対して孤独であると感じましたか (n=97)



育児に対する不安

回答者の97%が不安あり

本サービスの利用前に自分や子どもの将来に対して不安を感じることはありましたか？（n=97）



SNS相談支援を利用後の気持ちの変化

回答者の58%がポジティブな変化あり

本サービス利用後のあなたの気持ちの変化として、あてはまるものを選んでください。(n=97)

